

三菱自動車、軽商用 EV『ミニキャブ EV』を一部改良

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）は、軽商用 EV『ミニキャブ EV』に、コネクティッド機能の追加や予防安全機能の強化など一部改良を施し、9月17日（木）より全国の系列販売会社で販売を開始します。メーカー希望小売価格は2,541,000 円～2,651,000 円（消費税 10% 込み）です。



ミニキャブ EV CD 20kWh 4シーター

1. 主な変更点

- ・法人・事業者向けの「車両運行サポートサービス^{*1}」に対応した車載通信機（TCU^{*2}）をメーカーオプションとして新たに設定しました。
- ・「車両運行サポートサービス」は、運行管理者向けの「ダッシュボードサービス」と、ドライバー向けの「MITSUBISHI CONNECT^{*3}」で構成され、運行管理の効率化とドライバーの安全・安心な車両利用を支援することで、日々の業務を総合的にサポートします。
- ・「ダッシュボードサービス」は、車両の走行履歴、走行距離、消費電力量などのデータを集計・分析できます。運行実績をパソコンの Web ブラウザーから一元管理でき、効率的な運行管理を支援します。
- ・「MITSUBISHI CONNECT」では、リモートエアコンの設定やドアのロック・アンロック、タイマー充電設定を含む充電管理、SOS コールなどの機能をご利用できます。

^{*1}：ご利用には別途月額利用料が必要です。

^{*2}：Telematics Control Unit

^{*3}：MITSUBISHI CONNECT は、スマートフォンアプリや Web サイトを通じて車両情報の確認や各種コネクテッドサービスを利用できる、三菱自動車のコネクテッドサービスです。

- ・予防安全機能「三菱 e-Assist」を機能強化しました。衝突被害軽減ブレーキシステム（FCM^{*4}）の検知対象を夜間の歩行者や自転車まで拡大しました。また、誤発進抑制機能（前進時）を静止歩行者の検知にも対応するなど、安全運転をサポート

ートします。さらに、標識認識システム（TSR^{*5}）を採用し、一時停止標識および進入禁止標識の認識に対応、フロントガラス上部に設置したフロントカメラで標識を認識し、メーターパネル内に表示することでドライバーへ注意を促します。

*4：Forward Collision Mitigation System

*5：Traffic Sign Recognition System

- ・メーカーオプション設定のスマートフォン充電用 USB ポートを、従来の Type-A + Type-C から Type-C を 2 口へ変更。Type-C 対応の最新モバイル機器の普及拡大に対応し、利便性の向上を図りました。

2. メーカー希望小売価格

（リサイクル料金、保険料、消費税を除く税金、届出等に伴う費用は含まれません）

グレード	座席数	車両本体価格 (消費税 10% 込)
CD 20.0kWh	2 シーター	2,541,000 円
	2 シーター 急速充電付	2,596,000 円
	4 シーター	2,596,000 円
	4 シーター 急速充電器付	2,651,000 円

『ミニキャブ EV』は国の補助金制度の対象車であり、自家用車として購入される場合は、令和 7 年度補正予算「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」（経済産業省）の対象^{*6}となります。また、事業用車両として導入される場合は、令和 7 年度補正予算「脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金」（環境省）の対象となり、補助金を活用することで、実質負担額は軽減されます。さらに、地域によっては自治体独自の補助制度も利用できるため、導入時の負担軽減が可能です。

*6：『ミニキャブ EV』は令和 7 年度補正予算「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」の対象となり、574,000 円の補助金を受けられます。

< 『ミニキャブ EV』の車種サイトはこちら >

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/minicab_ev/index.html

【ご参考】

『ミニキャブ EV』は、優れた環境性能と実用性を兼ね備えた軽商用 EV です。EV ならではの静粛性と力強くスムーズな走行性能、大容量の荷室により、配送業務や営業活動など幅広いビジネスシーンで利用されています。